

## 施設整備の目的

Purpose of facilities maintenance

本学の理念でもある知的、道徳的及び応用的能力を備えた人材育成の場として施設を長期間にわたって良好な状態で有効に活用することを目的とする。



## 施設整備の目標

Target of facilities maintenance

大学施設は、大学の理念や目標を具現化するための基盤であり、本荘キャンパスにおいては変化し続ける医学・医療の要請に柔軟に対応できる施設環境を備えると共に、施設を利用する学生や教職員等の生活空間として、安全・安心で魅力ある教育研究環境を整備していく必要がある。

しかし、多くの老朽施設を抱えている現状から、それらの施設については可能な限り有効利用を図りつつ、改修や取り壊しを計画的に実施し、本荘キャンパスを構成する3地区の特性に応じ、教育・研究・医療活動の高度化・多様化及び情報化の進展へ対応できる豊かなキャンパスの創造を図る。

なお、本マスタープランは10～15年程度を見据えて作成したものである。

- 北地区：基礎研究棟を取り込み医学部及び同附属病院の主キャンパスとする。
- 中地区：学内共同のCOE(センター・オブ・エクセレンス-研究拠点-)キャンパスとする。
- 南地区：医学部保健学科及び共用施設のためのキャンパスとする。

## CONTENTS

1. 施設整備の基本方針
  - 1.1 熊本大学の理念・目的・目標
  - 1.2 熊本大学組織図

## 1.3 大学施設整備の目的・目標

- 1.4 キャンパス計画のコンセプト
2. キャンパス概要
  - 2.1 キャンパス位置図
  - 2.2 現状施設
  - 2.3 経年別建物配置と現状施設データ
3. キャンパス計画・施設整備の将来構想
  - 3.1 施設整備の将来構想
  - 3.2 キャンパス計画各論
  - 3.3 意匠計画の考え方
  - 3.4 アメニティ空間の整備計画
4. 将来構想に向けた具体的な整備方針と整備計画
  - 4.1 施設整備の方針
  - 4.2 施設整備計画